

§ 6 景観重要公共施設の整備及び良好な景観の形成に関する事項

6-1 景観重要公共施設の整備に関する方針

(1) 沿道空間重点区域の景観重要道路【三次駅前都市景観形成地区内】

景観重要公共施設として位置づける図6-A に示す路線A、B、C、D(景観重要道路)は、三次駅前都市景観形成地区の景観形成方針に沿って、次のとおり整備することとし、設計・施行段階において管理者と協議して実施に努めます。

<p>路線A：一般国道183号（賑わい景観創出ゾーン）</p> <p>○歩行者の安全性と快適性を重視した構造、仕上げに努めます。</p> <p>○潤いのある景観を形成するため、無電柱化の推進や街路樹の整備など、地区の景観形成の方針に即した整備に努めます。</p> <p>○照明を設置する場合は、歩行者・車の通行の安全確保及び周囲の街並みとの調和に配慮します。</p> <p>○道路付属物などは、シンプルな形状構成及び周辺と調和する色彩に配慮します。</p>
<p>路線B：一般国道183号及び375号（もてなし景観創出ゾーン）</p> <p>○落ち着いた色彩を基調とした整備に努めます。</p> <p>○山並みの眺望を活かすため、無電柱化の推進や街路樹の整備など、地区の景観形成の方針に即した整備に努めます。</p>
<p>路線C：一般国道183号及び375号（もてなし景観創出ゾーン）</p> <p>○落ち着いた色彩を基調とした整備に努めます。</p> <p>○三次のシンボルである巴橋の現在の意匠、色彩の保全に努めます。</p>
<p>路線D：市道日之出町線（もてなし景観創出ゾーン）</p> <p>○落ち着いた色彩を基調とした整備に努めます。</p> <p>○街路樹の保全に努めます。</p>

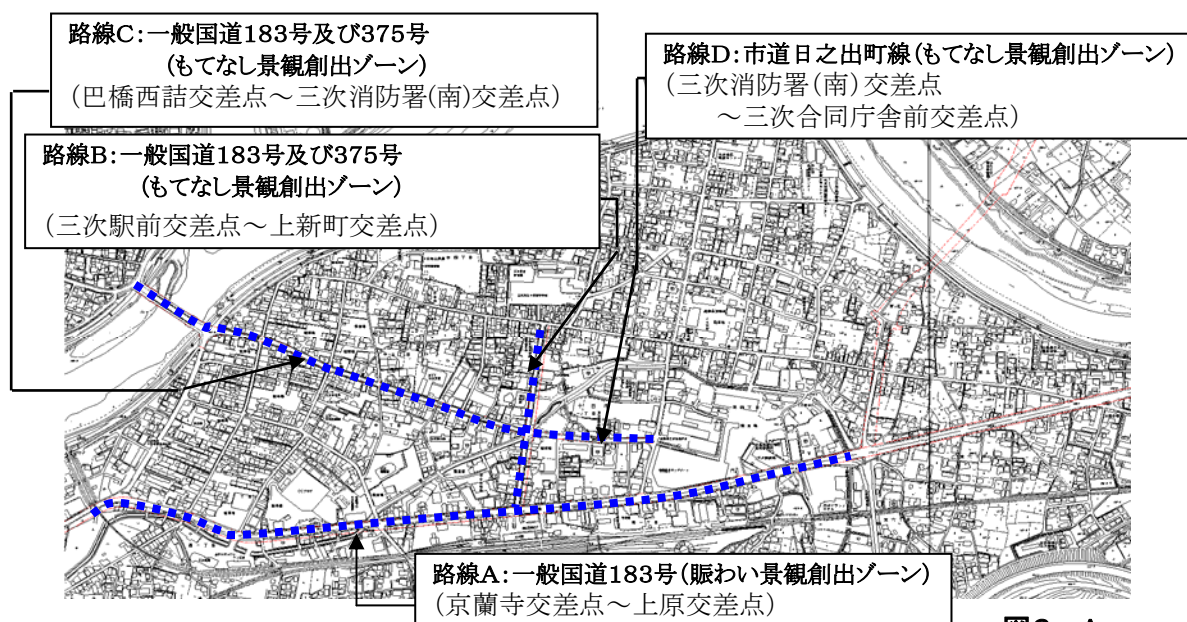


図6-A

(2) 三川合流部眺望景観形成区域（別図6-B赤線枠内）

①地区特性

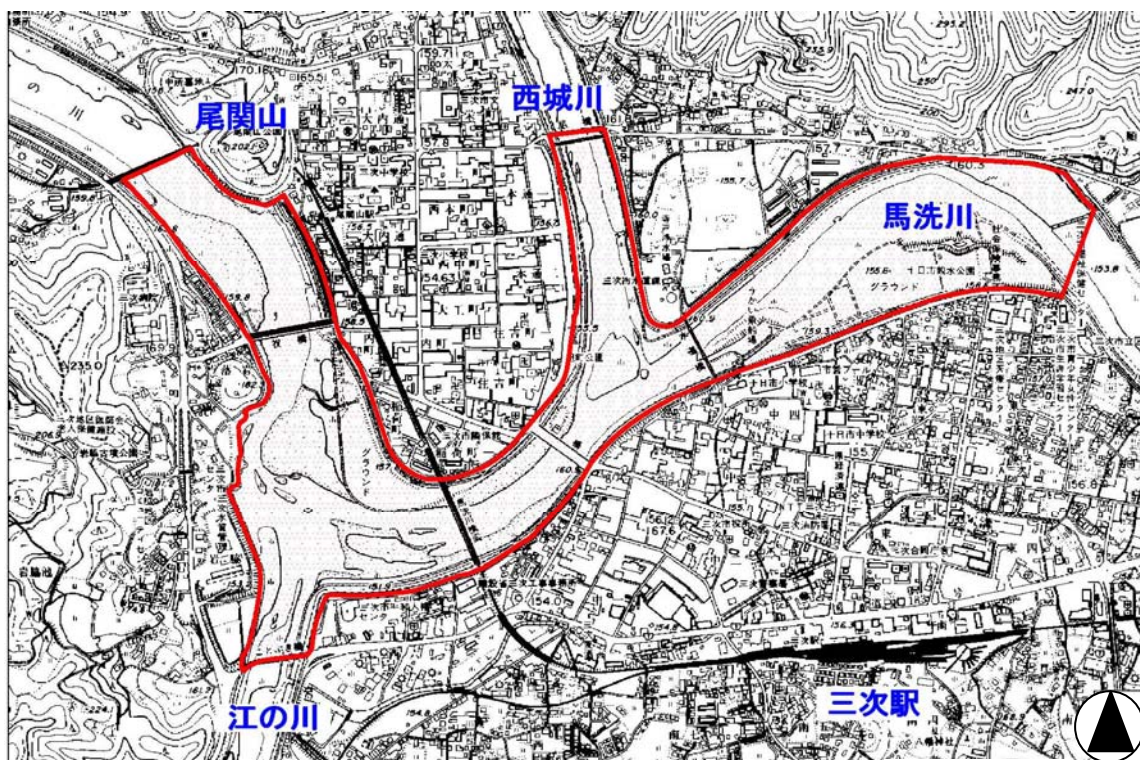
高谷山から望む巴状に合流する三つの川、河川から望む周辺の山並み、夏の風物の鶉飼いなど多くの景観が楽しめます。

②景観形成目標

- ・眺望、視点を積極的に活用して、季節の変化が楽しめる市民の憩いの場の形成
- ・自然と調和する素材の活用や環境に配慮した整備
- ・河川のダイナミックな景観を引き出す連続性のある景観形成

③景観形成方針

- 元来の自然の姿である河川などを保全します。
- 広場などオープンスペースの整備では、遠景の良好な自然景観、ランドマークの眺望を活かす植栽配置に配慮します。
- 工作物や屋外広告物などは、色彩を統一し、自然と調和する環境にやさしい材料を選定します。
- 生物の生息環境を保全し、周辺の植生景観と調和する緑化を行います。
- 堤防付近に植栽する場合は、既存の桜並木と調和した連続性のあるものとします。
- 道路整備にあたっては、落ち着きのある色彩の選定と人工物の適切な配置や素材を選定します。



別図6-B